

研究課題名	機能性消化管疾患、好酸球性消化管疾患の病型変化と病態解析
研究の意義・目的	機能性消化管疾患、好酸球性消化管疾患はいずれも障害される臓器が時期によって変わるなど、病気の型が変化する疾患であり、好酸球や肥満細胞が原因であるなど似通った病気の性質を持っています。本研究ではどのように病気の形が変化するのか実態調査を行い、病気の原因について調べます。この調査により現状の把握および今後の研究・診療の発展に繋がるものと考えられます。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ <u>2026年3月</u>
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月～ <u>2022年7月</u> に大阪 <u>公立</u> 大学医学部附属病院の消化器内科で、機能性消化管疾患、好酸球性消化管疾患の診断、治療のため受診された方が対象となります。また内視鏡検査で消化管の生検を受けられた機能性消化管疾患、好酸球性消化管疾患以外の診断、治療のために受診された方も対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【消化管の生検組織】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、内視鏡所見・画像、病理所見、アンケート結果】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪 <u>公立</u> 大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪 <u>公立</u> 大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪 <u>公立</u> 大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 田中 史生
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪 <u>公立</u> 大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 田中 史生 電話番号：(06) 6645-3811